

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援センターあおぞら園		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 23日		～ 令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47家庭	(回答者数) 28家庭
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 23日		～ 令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10施設	(回答数) 6施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児発・放デイで直接支援行っている職員が訪問することで、訪問先施設とあおぞら園の様子をこまめに情報共有できている。	相互でこまめに情報共有することで、対象児童に同じ対応で関わることができている。	更に連携を深めていけるよう、訪問先施設からいただいたご意見を参考に取組んでいく。
2	対象児童が通園している児発・放デイの行事に訪問先施設の職員、先生方を招待し、参加してもらっている。	訪問先施設の職員、先生方が来園していただくことで、対象児童の違った一面を見ていただく機会と“見に来てくれた”の気持ちに繋げている。	更に連携を深めていけるよう、訪問先施設からいただいたご意見を参考に取組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設によって、訪問数等にばらつきがある。	訪問先施設に支援の目的等についての説明や対象児童の情報共有が不足していた。	訪問実施前、年度替わりに支援の目的、訪問の日程等を訪問先施設と共有する。
2	訪問支援の質を高める	訪問支援を開所して1年経過したが、こちらの対応不足で連携、情報の共有で課題が多くあった。	訪問支援員の支援の質を高めるため、訪問支援の研修実施と振り返りの機会を増やしていく。
3			